

みえ福祉第三者評価結果

① 三者評価機関名

株式会社 中部評価センター

② 施設・事業所情報

名称：昭和保育園	種別：保育所
代表者氏名：吉矢寿香	定員（利用人数）：150名（131名）
所在地：三重県名張市丸之内67-10	
TEL：0595-63-1767	ホームページ： http://www.nabari-shakyo.jp/hoikuen/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成22年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会	
職員数	常勤職員： 47名 非常勤職員 3名
専門職員	（園長） 1名 （看護師） 1名
	（保育士） 30名 （調理師） 5名
	（保育補助員） 10名 （調理補助） 1名
	（事務員） 2名
施設・設備 の概要	（居室数） 8室 （設備等）給食調理室・保健室
	休憩室・体育倉庫・教材室・プール
	図書室

③ 理念・基本方針

名張市の保育理念 「一人ひとりの子どもを心身ともに健やかに育てます」
 保育目標 「生き生きと遊ぶ子ども」

昭和保育園の保育目標 ～保護者と共に育ち合う保育を目指して～
 ○心身ともに健康な子ども
 ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～
 ・体力のある子ども
 ・意欲のある子ども
 ・友だちと感じあえる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・異年齢児交流
- ・保護者や家庭支援
- ・アレルギー食や離乳食の個人対応
- ・園内公開保育を実施して職員の資質向上に努めている
- ・地域の交流
- ・地域の子育て支援（マイ保育ステーション）
- ・一時預かり事業
- ・看護師の常勤

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年7月5日（契約日）～ 平成30年1月22日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成24年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆提供されるサービスの質の向上に向けた取り組み

保育に関して課題を抽出するために公開保育が実施され、その改善に向けて前向きに取り組んでいる。職員のスキルの向上がサービスの質の向上にとって重要な要素であることを認識し、行事ごとに反省会を開催して問題点を確認し、月に2回以上行われる園内保育研修会で改善策を検討している。

◆子ども一人ひとりを尊ぶ保育

子どもを尊重した保育の基本姿勢は職員の心得として理論網領に明示され、年度始めに全職員に配布し、保育を振り返る話し合いの場で読み合わせをする等、再確認を行っている。月1回の園内人権保育研修や年3回の法人による人権研修が行われ、さまざまな差別行為や虐待防止等、子どもの人権をいかに守るか、子ども自身の人権意識をどう育てるか等が研修の報告書や保育日誌に記録され、日々の保育につなげている。保護者には人権啓発文書を発行しており、園全体で人権意識向上に努めている。

◆地域に開かれた保育内容

子どもの生活や学びの連続性を踏まえ、家庭や地域と連携・協力を得てさまざまな保育が展開されている。保育園周辺地域の祭りへの参加やおもちゃ図書館訪問、高齢者や小・中・高校生とのふれあい活動等が活発に行われ、特に地域の子育て経験者による畑の開拓指導や絵画、造形、わらべうた、絵本の読み聞かせが定期的な保育に取り入れられている。地域の自然、地域住民を含む人材、行事、施設等、地域の資源を積極的に活

用し、豊かな生活体験をはじめ保育内容の充実が図られている。

◇改善を求められる点

◆個別指導計画の策定

アセスメント情報を得る為に、手順書に従い面接や事前提出される書面情報で3歳未満児と障がいのある子どもの個別指導計画は作成している。一人ひとりの子どもの発達を保障していくためには、3歳以上児も含めたすべての子どもに対してクラス指導計画と合わせた個別指導計画を作成することが望まれる。

◆情報の管理

個人情報保護マニュアルに沿って保護者から個人情報同意書をとっているが、情報の不適正な利用や漏洩に対する対策と対応方法の規定を定めることを望みたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けるにあたり、園として目指す目標を再確認でき、日々の保育を見直す機会となりました。評価結果を真摯に受けとめ、褒めて頂いた事は職員のモチベーションに繋がり、課題については、職員間で話し合い、出来ることから改善していきます。

また、保護者の要望をしっかりと把握し、より一層「保育の質」の向上に努めて行きます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。